

断層変位を受ける地中管路の設計手法に関する研究小委員会  
(平成30年度～令和2年度)

活動概要

## 小委員会委員(総数:28名)

委員長：清野純史（京都大学）

副委員長：鈴木崇伸（東洋大学）

幹事長：長谷川延広（JFEエンジニアリング）

WG主査：WG1 野津厚（港湾空港技術研究所），WG2 小野祐輔（鳥取大学），  
WG3 鎌田泰子（神戸大学）

幹事：

WG1：古川愛子（京都大学），岩田克司（エイト日本技術開発）

WG2：岸正蔵（クボタ），西川源太郎（積水化学）

WG3：大嶽公康（NJS），金子正吾（クボタ）、中園隼人（JFEエンジニアリング）

委員：

有賀義明（弘前大学），岩楯徹広（首都大学東京），庄司 学（筑波大学），

宮島 昌克（金沢大学），宮本 勝利（日水コン），坂下 克之（大成建設），田中 努（メトロ設計），

森本 皓一（栗本鐵工所），矢澤 修一（日鉄住金P&E），小倉 均（日鉄住金P&E），

小田 圭太（クボタ），副島 紀代（大林組），大室 秀樹（クボタケミックス），

森 健（JFEエンジニアリング）、羽場一基（大成建設）

# 活動概要

これまでに断層に関する研究では、断層変位の予測、断層影響範囲の設定、設計手法の提案、対策工法の開発など、様々な報告がなされているが、国内における設計基準では、断層変位を受ける地中管路についての**具体的な設計手法**が、まだ確立されていない。

小委員会では、これら既往の研究を参考に、断層変位を受ける地中管路(**主に水道管路**)の**設計手法の確立を目的**とする。

- ①WG1:断層近傍の断層変位を含む**地震動**の推定
- ②WG2:断層変位を受ける地中管路の**設計手法**
- ③WG3:断層変位を受ける地中管路の**対策方法**および**維持管理方法**

# 2018年度 小委員会・WG活動報告

- ・事前打合せ会(7月4日)  
京都大学 15名参加(活動方針に関する審議)
- ・第1回小委員会(8月1日)  
東洋大学大手町サテライト 18名参加(話題提供、WG活動)
- ・第2回小委員会(9月27日)  
土木学会 22名参加(話題提供、WG活動)
- ・第3回小委員会(12月4日)  
JFEエンジニアリング 21名参加(話題提供、WG活動)
- ・第9回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム(1月11日～12日)  
琉球大学 断層変位セッション(小委員会から8編を投稿)
- ・第4回小委員会(2月19日)  
京都大学桂キャンパス 17名参加(話題提供、WG活動)
- ・現場見学会(2月20日)  
松ヶ崎高区配水池更新工事(京都市水道局)8名参加

# 2019年度 小委員会・WG活動報告

- ・第5回(5月22日)小委員会  
土木学会 20名参加(話題提供、WG活動)
- ・第6回(7月24日)  
土木学会 17名参加(話題提供、WG活動)
- ・第7回(9月11日)  
土木学会 17名参加(話題提供、WG活動)
- ・第8回(11月11日)小委員会  
京都大学桂キャンパス 20名参加(話題提供、WG活動)
- ・第9回(2月26日予定)小委員会  
最終成果報告書(案)

## 第10回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム(1月8日～9日)

鳥取大学 断層変位セッション(小委員会から7編を投稿)

## 出版物

- ・シンポジウム論文集
- ・中間成果報告書(2019年8月)
- ・最終成果報告書(2020年11月予定)

# 2020年度 小委員会・WG活動報告

最終成果報告会(10月23日)

オンライン開催

第11回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム(1月7日～8日)

小委員会から投稿を予定

## 出版物

- ・シンポジウム論文集
- ・中間成果報告書(2019年8月)
- ・最終成果報告書(2020年11月予定)